

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書  
大門・大島地区

令和2年11月

富山県射水市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	越中大門駅の乗降客数	人/年	285,195	290,948	389,800	確定 見込み	あり - なし -	377,397	R2.10月		-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	確定値は評価値を下回ったが、乗降客数が増加しているため、事業による効果発現が確認できる。
指標2	地区内居住人口数	人	16,534	16,534	16,700	確定 見込み	あり - なし -	16,764	R2.10月		-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	確定値と評価値はほぼ同様の値で、公園と狭隘道路の再整備の相乗効果が確認できる。
指標3	都市再生整備区域内のデジタル防災行政無線のカバー率	%	7	100	100	確定 見込み	あり - なし -	-	-	-	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	デジタル防災行政無線の整備が進み、住民が安心して暮らせるまちづくりをできたと確認できる。
指標4						確定 見込み	あり なし						
指標5						確定 見込み	あり なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み							改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み							改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み							改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	越中大門駅の利用促進	なし	なし	コミュニティバス・デマンドタクシーの最適化と公共交通利用のPRとパークアンドライド等の促進。
	市民交流の活性化	再整備された大島中央公園のエントランスを利用して、地元団体がフリーマーケット等のイベントを行った。	子供は屋内外にある大型遊具を楽しみ、大人はフリーマーケットを楽しむことができ、地域の活性化を図ることができた。	公園施設の充実化の促進。
	市民防災意識の向上	市の総合防災訓練を実施し、自主防災組織への活動支援を行った。	「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域住民の強い連帯意識を醸成することができた。	自主防災意識を育成強化し、防災ハザードマップの周知を徹底。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	越中大門駅のアクセス性、拠点性の向上	別事業で行っている駅前広場及び都市計画道路駅前線の整備工事の実施。	現在整備中で令和3年度(予定)に供用開始となる。	越中大門駅の駅舎の改修。
	安全・安心な居住環境改善に向けた面的展開	・歩道幅員が狭隘で、通学時は車両・自転車・歩行者が輻輳し危険なため、歩道の拡幅工事を行った。	現在、整備中の区間もあるが、整備済みの区間に関しては、より安全な歩道として再整備された。	通学路交通安全プログラムによる、安全性の確保に向けた取り組みを引き続き推進していく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(精算報告)

だいもん おおしま ちく  
大門・大島地区

とやまけん いみずし  
富山県 射水市

令和2年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	とやまけん 富山県	市町村名	いみずし 射水市	地区名	たいもん、おおしま 大門・大島地区	面積	643 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

**目標**  
**【大目標】 交流により心がふれあう、安全・安心で快適な居住環境を創出するまちづくり**  
 目標 : 地区の交通拠点である越中大門駅周辺の利便性向上  
 目標 : 公共公益施設を活用した交流の促進  
 目標 : 地区住民が安心して暮らせるまちづくり

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
 射水市は、富山県のほぼ中央に位置している人口約9万3千人の市で、平成17年11月に新湊市と射水郡の全町村(小杉町、大門町、大島町、下村)が合併して誕生した市である。大門・大島地区は、北陸本線の越中大門駅を中心とした一体性のある市街地を形成している地区である。  
 地区北東部には、多目的グラウンド等の運動施設を備えた大島中央公園や、弓道場、ヨング大島体育館などの体育施設、大島絵本館が整備されており、市民の憩いの場となっている。また、大島中央公園東側隣接地(グリーンスクエア)では、射水市発足以来の分庁方式による行政機能を集約した新庁舎建設が計画されている。新庁舎建設に伴い、今後、地区の拠点性向上が予想されることから、新庁舎周辺の公共公益施設を活用して、交流を促進することが求められている。なお、新庁舎建設の基本構想作成にあたっては、これまで有識者や地元代表らが組織した射水市新庁舎整備基本構想検討委員会を6回開催しており、庁舎の機能や規模、大島中央公園周辺の既存施設との空間構成などについて議論を重ねてきている。  
 今後、地区を取り巻く環境の変化として、平成27年春の北陸新幹線開業と合わせた並行在来線(北陸本線)第三セクター化に伴い、鉄道利用環境の変化による越中大門駅利用者数の減少が懸念されていることから、同駅周辺の利便性向上及び利用促進が求められている。  
 また、東日本大震災発生後、市の防災機能向上に対する市民の要望は高まっており、市では、これまで津波ハザードマップの作成や自主防災組織の育成・支援などの取組みを進めてきている。しかしながら、当地区では防災行政無線の未整備箇所があるなど防災機能の強化が急がれており、新庁舎の防災拠点化及びデジタル防災行政無線網の整備や狭隘な道路の改善等を行い、災害に強いまちづくりを推進することが求められている。

**課題**  
 1. 越中大門駅周辺の利便性向上  
 北陸新幹線開業と合わせた並行在来線(北陸本線)第三セクター化による影響を見越し、地区の交通拠点である越中大門駅の利便性向上を図ることが課題である。  
 2. 公共公益施設を活用した交流の促進  
 新庁舎建設を契機に、周辺の公共施設を一体的に整備することにより、地区の拠点性向上が予想され、周辺交通の円滑化やコミュニティの向上、交流促進が課題である。  
 3. 安全・安心な居住環境の創出  
 狭隘な道路の改善など道路環境を整えるとともに、地区の防災機能を強化することで、地区住民が安全・安心に居住できる環境を創出することが課題である。

**将来ビジョン(中長期)**  
**【射水市総合計画】平成20年3月策定**  
 射水市総合計画では、まちづくりの政策として、快適で利便性の高いまちづくり、快適で住みよいまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、が掲げられており、基本計画では、越中大門駅周辺の整備や、都市計画道路の整備促進、歩道設置や交差点改良など道路の利便性・安全性の向上と、公園・緑地のリフレッシュ整備、デジタル方式による防災行政無線の統合整備、統合庁舎建設の検討などがまちづくりの施策として示されている。  
**【射水市都市計画マスタープラン】平成22年3月策定**  
 射水市都市計画マスタープランでは、大門・大島地域の将来像として「交流が盛んな、快適な居住環境と、商・工業が共存できる活力あふれるまち」を掲げており、住みよい快適な都市環境を創出するまちづくり、交流により心がふれあうまちづくり、繁栄する活力あるまちづくりが示されている。また、都市整備の方針として、大島中央公園の施設・設備の充実、市街地内の道路の安全性確保、都市計画道路駅前線の整備促進、越中大門駅の利便性向上と利用促進のための駅周辺整備が示されている。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
越中大門駅の乗降客数	人/年	越中大門駅の乗降客数	地区の交通拠点としての越中大門駅の利便性向上の効果を、駅利用者数の推移により確認する。(目標1に対応)	285,195人/年	H24	290,948人/年	H30
地区内居住人口数	人	地区内の居住人口数	新庁舎を含む公共施設を一体的に整備することにより、地区の拠点性の向上及び交流の促進が図られる効果を、地区内居住人口の推移により確認する。(目標2に対応)	16,534人	H24	16,534人	H30
都市再生整備計画区域内のデジタル防災行政無線のカバー率	%	都市再生整備計画区域におけるデジタル防災行政無線の面積カバー率(面積比率)	デジタル防災行政無線を整備した効果を、災害情報等を伝達できるエリアで確認する。(目標3に対応)	7%	H25	100%	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標 地区の交通拠点である越中大門駅周辺の利便性向上</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越中大門駅へ連絡する道路を整備することにより、同駅へのアクセスを改善し、利便性を向上させる。また、沿道に立地する公園を再整備することによって、憩いの空間を提供する。</li> </ul>	<p>基幹事業：市道雄神町停車場線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：大島南部公園再整備(公園)</p>
<p>目標 公共公益施設を活用した交流の促進</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎に隣接する交差点を改良することにより、想定される多数の来庁者が安全で円滑に通行できる環境を整える。</li> <li>・大島中央公園を再整備することにより、地区の身近なレクリエーション拠点として、機能向上を図る。</li> </ul>	<p>基幹事業：市道大島北野鷺塚線外1路線交差点改良(道路)</p> <p>基幹事業：大島中央公園再整備(公園)</p>
<p>目標 地区住民が安心して暮らせるまちづくり</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の狭隘な道路の側溝を改修することにより、安全で円滑な交通環境を整える。</li> </ul> <p>・また、災害発生時などに必要な緊急情報を広く市民に伝達できるデジタル防災行政無線を市内で一体的に整備することにより、地区住民が安心して暮らせる環境を提供する。</p>	<p>基幹事業：市道雄神町停車場線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：市道倉町停車場線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：市道柳町大門本江線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：市道北高木新町線側溝改修(道路)</p> <p>基幹事業：デジタル防災行政無線整備(地域生活基盤施設)</p>
<p>その他</p>	

